



イマイユ市場 安全・安心な水産物の供給を目指して

1 イマイユ市場の開設経緯

泊漁港（那覇市）にあった沖縄県漁連市場の老朽化や泊漁港内の土地の狭さなどの諸問題を解決するために、県は糸満漁港（糸満市）に高度衛生管理型荷捌施設を整備しました。この施設を活用し、水産物を取り扱う地方卸売市場（愛称：イマイユ市場）が令和4年10月に開設されました。



荷さばき施設の全景

卸売市場って？

生鮮食料品などを、売り手（卸売業者）と買い手（買受人）が「セリ」などの方法で売買する場所・施設のこと。

2 イマイユ市場の特徴

食品の衛生管理に対する消費者のニーズは年々高まっています。イマイユ市場は、消費者に「安全・安心な水産物」を安定供給するため、食中毒や異物など、人に危害を及ぼす要因を「持ち込まない」「つけない」「増やさない」ことをコンセプトとしています。危害を「持ち込まない」ために、市場の建物は閉鎖型で、人や物の移動が制限されるとともに、魚や施設の洗浄には紫外線や電気分解で殺菌された清浄海水を使用しています。病原菌などを「つけない」「増やさない」ために、市場に入場する際には、作業員に対して手や長靴の消毒を義務付けており、水産物の床への直置きを禁止しています。また、施設内で使用される車両は、排気ガスを出不さない電動式フォークリフトを使用するなど、さまざまな取り組みによって「安全・安心な水産物」の衛生管理に努めています。

3 行こうよ！市場見学

イマイユ市場には見学者用通路があり、一般の見学者も施設やセリの様子を見ることが出来ます。セリは午前5時開始と朝早いですが、マグロなどの新鮮な県産水産物が並ぶ光景は圧巻です。

市場開設日（セリの実施日）については、市場開設者である沖縄県水産公社のホームページで確認するか、お電話にてお問い合わせください。



一般財団法人
沖縄県水産公社
ホームページ

電話：098-1992-3511

4 今後の取り組み

イマイユ市場は、県民が直接水産物を買うことができる施設ではありませんが、イマイユ市場で取り扱われたお魚などは県内のスーパーや鮮魚店で購入することができます。

県では、イマイユ市場のPRなどを行いながら「安全・安心な水産物」の流通拡大に取り組んでいきます。

「イマイユ市場」を動画で紹介！



イマイユ市場 / 沖縄県漁業協同組合連合会



「イマイユ市場」に潜入 / 海と日本PROJECT in 沖縄県



マグロなどの陳列



セリの様子



お魚キャラクター「まぐろー」

問い合わせ 水産課 電話：098-866-2300 FAX：098-866-2679



節水にご協力ください

すぐできる節水対策はこちら

